

申請団体のデータ（グループ名簿、助成金要望額内訳は割愛しています）

チーム・いるもんで(カフェ・いるもんでチーム) **新規**

グループ概要

結成年月 H28.4
構成員数（うち50歳以上） 17(17)名
活動市町村 高森町
代表者 渡邊 真喜子
担当者 渡邊 真喜子

【事業名】

女性シニアグループ自らが立ち上げたカフェを活用した文化・教養活動の充実

【事業の種類】

高齢者の生きがい・健康づくりを広げるための活動
中高年グループが主体となった地域づくり・社会貢献活動

【これまでの活動内容】

- ・長い間空き施設となっている町施設を何とか活用したいというとの思いから立ち上げました。
- ・眺めの良い環境を生かし、地域の方々の「いこいの場」又誰でも来られる「居場所」として、コーヒー軽食を提供しながら共に学び合う（地産農産物利用、手作りで安全安心な食事の提供）
- ・開店していることに意義があり、活動する我々の生きがいの場づくりでもある。（ミニコンサート、学習会、手作り市、歌声喫茶、グループ活動の集会、バイキング等開催）

【事業の目的】

- ・町の空き施設を活用し、地域の方々と共に学習する機会を作る。
- ・誰でも気おくれせず気楽に来られる優しいカフェレストランを作り、いこいの場、「学ぶ場」にしたい。
- ・活動(提供)する我々自らの活性と生きがいの場でありたい。

【今年度の事業計画】

- ・脳活塾：(つれづれ草の勉強、原発について、松尾多勢子または井伊直虎の学習)
地元の知識人(先生)方を招いて3回程度の活動予定
- ・講師を招いての社会問題の学習会(勉強会)3回
- ・コンサート(篠笛、薩摩琵琶)の開催 2回
- ・今まで資金不足のために活動内容も乏しく、回数も少なく、宣伝方法も充実しておらず、満足な活動ができなかった。他の活動もしたり、回数を増したり、広く宣伝して大勢の方々に提供し、充実した内容の活動を目指したい。

【将来計画】

<2年目の事業計画>

- ・常に社会、政治に目が向く、正しい考えを身に着けるための勉強会の充実、回数の拡大
- ・健康教室等を開き、地域住民の健康づくりの場にしたい。
- ・カフェの周りの庭をいやしの場とするための花づくり

<3年目の事業計画>

- ・今までの事業の継続と内容の充実
- ・庭園の手入れの充実と、地域の方々を巻き込んだ「マイガーデンづくり」がしたい。

【事業実施により地域に期待される効果】

- ・町空施設の活用による無駄の軽減(多少であるが)になる。
- ・地域全体の活性化
- ・いこいの場、居場所を提供し、どんな人(障害者、老人、子育て中の方等)でも気おくれせず、気楽に集まれるカフェの存在でありたい。
- ・文化発信のできる場所である。
- ・人と人のふれ合いを築き、外に出て会話や会食することでよい関係が生まれる地域づくりでありたい。

【平成29年度当該事業費内訳】

助成金要望額	110,000円
助成金以外の収入	60,000円
総事業費	170,000円